

授業科目等の概要

(医療専門課程 歯科衛生科 昼間Ⅰ部) 2025年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			生物学	医学の基礎となる生物学を学ぶことにより生命の不思議や尊さを理解できる。	前期 1年生	30	2	○			○			○	
○			心理学演習	人間の心理や行動のメカニズムについて理解し、現場での応用を意識して具体的なコミュニケーション方法が実践できる。	後期 2年生	30	2		○		○			○	
○			外国語	グローバルな視点を持ち、コミュニケーションに必要な英会話ができる。	前期 1年生	30	2	○	△		○			○	
○			情報社会学	調査や症例発表に必要なワード、エクセル、パワーポイントの操作ができる。	後期 1年生	30	2	△	○		○			○	
○			社会学	現実の社会事象を捉え、自己と社会とのつながりが理解できる。	後期 1年生	15	1	○	△		○			○	
○			国語応用	日本語の特徴と文章表現の基本が理解できる。報告文、小論文などが適切に作成できる。	前期 1年生	15	1	○	△		○			○	
○			解剖学	人体の基本構造を中心とした解剖学的知識を理解できる。	前期 1年生	30	2	○			○			○	
○			口腔解剖学	口腔を含む頭頸部を中心とした解剖学的知識を理解できる。	前期 1年生	45	3	○		△	○			○	
○			生理学	人体の機能を中心とした基礎的内容を理解できる。	前期 1年生	15	1	○			○			○	
○			口腔生理学	顎、口腔、顔面領域の機能を中心とした内容理解できる。	後期 1年生	30	2	○			○			○	
○			病理学	疾病の成立ちを学び、病気の構造を理解できる。病気の成因を考えその予防法を理解できる。	後期 1年生	30	2	○			○			○	
○			微生物学	病原微生物の特徴と病原性、口腔および全身疾患との関連性が理解できる。	前期 1年生	30	2	○			○			○	
○			薬理学	薬物が生体に及ぼす影響を理解するために、その性質、作用について理解できる。	後期 1年生	30	2	○			○			○	
○			栄養学	栄養素の代謝、疾患とのかかわり、健康維持のための栄養が理解できる。	前期 2年生	15	1	○			○			○	

○		栄養学実習	食べる機能の発達・維持・回復などに応じた調理ができる。	前期 2年生	30	1		△	○	○			○	
○		生化学	ヒトを構成する物質がどのように合成、分解、調節されているかの基礎が理解できる。	後期 1年生	30	2	○			○			○	
○		口腔衛生学	歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みと歯科疾患の予防に関する知識が理解できる。	前期 1年生	30	2	○			○			○	
○		公衆衛生学	生活と健康に関わる社会の仕組みと地域社会における保健対策が理解できる。	前期 2年生	30	2	○			○			○	
○		衛生行政・社会福祉学	歯科衛生士に必要な法律・制度、わが国の社会保障制度について理解できる。	前期 2年生	30	2	○			○			○	
○		保健情報統計学	保健情報を把握し、統計の手法によって問題を解決する方法が習得できる。	前期 2年生	15	1	○			○			○	
○		歯科衛生学総論	歯科衛生を实践して人々の健康づくりを支援するために必要な保健医療人としての基本的態度が習得できる。	前期 1年生	30	2	○	△		○	○	○		○
○		歯科医療倫理	医療の進歩と生命の尊厳との調和などの医療倫理および生命倫理が理解できる。	前期 2年生	15	1	○	△		○			○	
○		歯科保存学	歯に生じる疾患の種類、診断および治療法が理解できる。	後期 1年生	30	2	○			○			○	
○		歯周病学	歯周組織に生じる疾患の種類、診断および治療法が理解できる。	後期 1年生	30	2	○			○			○	
○		歯科補綴学	歯の喪失に伴う口腔の変化、その形態および機能の回復について理解できる。	後期 1年生	30	2	○			○			○	
○		口腔外科学	口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と病態、診断法および治療法が理解できる。	前期 2年生	30	2	○			○			○	
○		小児歯科学	小児の身体的・精神心理的特徴と小児の歯科治療の留意点が理解できる。	前期 2年生	30	2	○			○			○	
○		歯科矯正学	不正咬合の治療意義と診断及び治療法が理解できる。	後期 2年生	30	2	○			○			○	
○		高齢者歯科学	高齢者の身体的・精神心理的特徴と歯科治療上の留意点が理解できる。	前期 2年生	15	1	○			○			○	
○		障害者歯科学	障害者（児）の身体的・精神心理的特徴と歯科治療上の留意点が理解できる。	前期 2年生	15	1	○			○			○	
○		歯科放射線学	歯科で使用する画像検査の特徴と適応ならびに放射線防護について理解できる。	後期 1年生	15	1	○			○			○	
○		歯科予防処置論Ⅰ	予防処置の考え方や基礎知識を学び、模型実習を通して歯石除去法が習得できる。	前期 1年生	60	2	△		○	○		○	○	
○		歯科予防処置論Ⅱ	う蝕予防処置法について、模型と相互実習を通して習得できる。	後期 1年生	60	2	△		○	○		○	○	

○		歯科予防処置 論Ⅲ	歯周病の予防処置の基礎知識を再確認し、相互実習を通して歯石除去法が習得できる。	前期 2年生	60	2	△		○	○		○	○	
○		歯科予防処置 論Ⅳ	歯科衛生過程を相互実習を通して実践し、症例発表ができる。	前期 3年生	60	2	△	△	○	○		○	○	
○		歯科保健指導 論Ⅰ	健康と疾病の概念を理解し、歯・口腔の健康を維持増進するためにプロフェッショナルケア、セルフケア、コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度が習得できる。	前期 1年生	60	2	△		○	○		○	○	
○		歯科保健指導 論Ⅱ		後期 1年生	60	2	△		○	○		○	○	
○		歯科保健指導 論Ⅲ		前期 2年生	60	2	△		○	○		○	○	
○		歯科保健指導 論Ⅳ		後期 2年生	15	1	○	△		○		○	○	
○		歯科保健指導 論Ⅴ		後期 3年生	15	1	△	○		○		○	○	
○		歯科診療補助 論Ⅰ		前期 1年生	60	2	△		○	○		○	○	
○		歯科診療補助 論Ⅱ	さまざまなライフステージにおける高度歯科医療に対応するために、専門性の高い歯科診療補助業務の基礎的知識と技術、態度が習得できる。	後期 1年生	60	2	△		○	○		○	○	
○		歯科診療補助 論Ⅲ		前期 2年生	60	2	△		○	○		○	○	
○		歯科診療補助 論Ⅳ		後期 2年生	30	1	△		○	○		○	○	
○		歯科診療補助 論Ⅴ		後期 2年生	30	1	△		○	○		○	○	
○		歯科診療補助 論Ⅵ		後期 2年生	30	2	○			○			○	
○		歯科診療補助 論Ⅶ		前期 3年生	30	1	△		○	○		○	○	
○		臨地臨床実習 Ⅰ	保健センター、保育園、老人施設等ライフステージ別での現場実習を通して、業務内容および実践能力が習得できる。	後期 2年生	45	1			○		○		○	○
○		臨地臨床実習 Ⅱ		後期 2年生	180	4			○		○		○	○
○		臨地臨床実習 Ⅲ		前期 3年生	45	1			○		○		○	○
○		臨地臨床実習 Ⅳ		前期 3年生	360	8			○		○		○	○
○		臨地臨床実習 Ⅴ		後期 3年生	45	1			○		○		○	○
○		臨地臨床実習 Ⅵ		後期 3年生	225	5			○		○		○	○

○			医学概論	臨床に必要な疾患概論及び治療に関する医学的知識が理解できる。	後期 2年生	15	1	○				○			○	
○			看護学概論	看護師と協働するために、看護における援助のプロセス・方法が理解できる。	後期 2年生	15	1	○				○			○	
○			リハビリテーション概論	リハビリテーションの概念および疾患、障害、具体的な患者へのアプローチが理解できる。	前期 2年生	30	2	○	△	△		○			○	
○			摂食嚥下リハビリテーション学（小児）	食べる機能に障害のある対象者に歯科衛生ケアを行うための知識・技術・態度が修得できる。	前期 2年生	15	1	○				○			○	
○			摂食嚥下リハビリテーション学（成人）		後期 2年生	15	1	○					○			○
○			こどもコミュニケーション	こどもや保護者などに対して臨床現場で必要な人との関わり方などができる。	後期 2年生	15	1	○	△			○			○	
○			医療保険・医療管理	歯科衛生士業務における保険診療の流れと安全安心の医療を提供するための概論が理解できる。	後期 2年生	15	1	○				○			○	
○			口腔保健学特論演習	すべての科目を再度学び直すことで、知識・技術を関連付けた、より高度な習得ができる。	通年 3年生	120	8	△	○			○			○	○
○			歯科衛生研究	研究論文を作成するための基本的な知識、技術、態度が習得できる。	前期 2年生	15	1	○	△			○			○	
○			教養演習Ⅰ	自ら考え課題解決できる能力、自分の意見をまとめ、人に伝える能力が習得できる。	通年 1年生	30	2		○			○	○	○		
○			教養演習Ⅱ		通年 2年生	30	2		○			○	○	○		
○			教養演習Ⅲ		通年 3年生	15	1		○			○		○		
				65科目	2790単位時間（ 122単位）											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の結果、履修状況等を総合的に勘案して行い、校長は課程修了の認定を行う。 （留意事項）		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	16週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。